

2019年4月23日

各位

株式会社 紀陽銀行

熊野古道の参詣道環境保全活動「道普請」の実施について
 ～2019年度総合職新入行員が土入れ作業をおこないました！～

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、和歌山県が実施する「10万人の参詣道環境保全活動」に賛同し、2019年4月19日（金）、熊野古道中辺路において2019年度総合職新入行員による「道普請」をおこないましたので、下記のとおりお知らせいたします。

和歌山県が誇る世界遺産の熊野古道は、台風や雨による被害にたびたび見舞われています。また、同じ世界遺産でも、修復に専門技術が必要な寺社などとは違い、参詣道は「道」であるため一般の人々も修復作業にかかわれるという特徴を持っています。そこで、当行は2012年度より、役職員のボランティア参加によって参詣道に土を補充する「道普請」に継続して取り組んでいます。6回目の参加となる今回は、総合職新入行員が研修の一環として「道普請」に取り組み、地元地域が誇る自然文化を肌で感じるとともに、社会貢献活動の意義を再認識しました。

紀陽銀行は、引き続き地域の自然価値・文化価値の保全に貢献することで、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

記

1. 実施概要

日 時	2019年4月19日（金）11:00～12:00
場 所	熊野古道中辺路 式水周辺
参 加 者	2019年度総合職新入行員
内 容	世界遺産センター、田辺市教育委員会による指導のもと道普請を実施

2. 「道普請」の様子



以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール11「住み続けられるまちづくりを」につながる取り組みです。

